

上場会社名 日本ハム株式会社
コード番号 2282 URL <http://www.nipponham.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畑 佳秀
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 経理財務部長 (氏名) 長谷川 佳孝

TEL 06-7525-3042

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け説明会)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		事業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	616,266	0.3	21,832	0.2	14,963	35.4	10,494	34.9	10,331	36.9	8,093	50.8
2019年3月期第2四半期	618,000	1.4	21,871	23.7	23,173	24.6	16,122	23.2	16,371	20.6	16,453	30.3

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	100.39	100.35
2019年3月期第2四半期	152.30	150.58

(注)事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	770,867	404,470	399,815	51.9
2019年3月期	741,388	405,358	401,014	54.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				90.00	90.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				90.00	90.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		事業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,240,000	0.5	40,000	4.4	26,000	14.1	18,500	5.4	179.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無

(注)詳細は、[添付資料]13ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(7)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項2. 会計方針の変更」をご参照下さい。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	102,958,904 株	2019年3月期	102,958,904 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	43,866 株	2019年3月期	46,288 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	102,913,235 株	2019年3月期2Q	107,493,080 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因によってこれら予想や計画とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 継続企業の前題に関する注記	12
(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
1. セグメント情報	12
2. 会計方針の変更	13
補足資料	補1～補6

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については本日 T D n e t で開示するほか、当社ホームページにも掲載いたします。

・2019年11月5日(火)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

※ 上記説明会のほかにも、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

業績全般の状況

当第2四半期のおが国経済は、雇用や所得環境の改善が続き、個人消費の持ち直しや企業収益が堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復が続きました。その一方で、世界経済の先行きや、政策に関する不確実性、通商問題の動向など、経済環境は依然として予断を許さない状況が続きました。

当業界におきましては、一部原材料価格の上昇や、人手不足を背景とした人件費、物流費の上昇、販売競争の激化、国内外における家畜の疾病など、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような中、当社グループは、2018年4月からスタートした「中期経営計画2020」において、「未来につなげる仕組み作り」をテーマとし、5つの経営方針「既存事業の効率化による収益力の強化」、「消費者との対話を通じた価値の創造」、「食の未来の構想/実現のための技術力強化・育成」、「海外市場展開のギアチェンジ」、「持続可能性(サステナビリティ)の追求」に基づく事業展開を推進してまいりました。具体的施策としては、国内ファーム事業の強化、前期に稼働を開始した食肉加工品製造工場やヨーグルト・乳酸菌飲料製造工場での増産、人財の育成やリスク管理の徹底などに取り組みました。海外においては、オーストラリアにおける牛肉事業の収益性改善に引き続き努めました。経営体制については、「ニッポンハムグループ・コーポレートガバナンス基本方針」に沿って、その充実に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比0.3%減の616,266百万円となりました。事業利益は対前年同期比0.2%減の21,832百万円、税引前四半期利益は当第2四半期連結会計期間において、2018年10月31日開催の取締役会で決議された選択定年制度の拡充に基づく募集を実施したことに伴う特例加算金等8,472百万円を計上したことなどにより、対前年同期比35.4%減の14,963百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は対前年同期比36.9%減の10,331百万円となりました。

セグメントの概況

(加工事業本部)

ハム・ソーセージ部門のコンシューマ商品では、主力の「シャウエッセン」において、「シャウエッセンホットチリ」に続く、新たなテイストである「シャウエッセンチェダー&カマンベール」との相乗効果に加え、顧客層の拡大を目的にWebを活用したプロモーションを実施するなど、積極的な拡販に努めました。また、アイテムを拡充し引き続き好調に推移した「アンティエ」やPB商品などが伸長したことにより、売上げは前年を上回りました。業務用商品については、大手外食チャネル、CVSチャネルでのキャンペーンの実施や定番商品の導入により第2四半期から伸長し、ハム・ソーセージ部門全体の売上げは増収となりました。

加工食品部門のコンシューマ商品では、エリアCMの投入や、店頭での積極的な販促活動を行った「石窯工房」の他、ハンバーグ・ミートボール群の売上げが堅調に推移しましたが、飲茶群やカレー等の常温商品群が苦戦した事により、売上げは前年並みとなりました。業務用商品では、惣菜・中食チェーン向けの売上げが減少したことにより、加工食品部門全体の売上げは前年を下回り、加工事業本部の売上げは減収となりました。

利益につきましては、主力ブランド商品の伸長による単価上昇で粗利益率が改善した事に加え、効果的な販促経費の活用や、製造部門における省人化の取組みなどにより、増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の加工事業本部の売上高は対前年同期比0.8%減の173,093百万円、事業利益は対前年同期比65.9%増の4,566百万円となりました。

(食肉事業本部)

食肉事業においては、ゴールデンウィークや夏場の需要期において、当社ブランド食肉である国産豚肉「麦小町」や国産鶏肉「桜姫」を中心に拡販を行ったほか、北海道日本ハムファイターズを活用した桜姫ナイターの開催や、SNSでのレシピ投稿、バーベキュー情報サイト「BBQ GO!」の更新など、消費者の皆様とのコミュニケーションの強化にも尽力しました。各地の量販店では、3～5月の桜前線と連動したキャンペーンや、当社ブランド食肉の提案、デリカ部門への販売強化を行いました。CVS、外食チャネル向けには、新たにカナダ産、ウルグアイ産牛肉や、抗生物質不使用の豚肉・鶏肉の提案など、幅広いチャネルに向けて営業活動を行いました。その結果、輸入鶏肉をはじめ各畜種および食肉加工品の販売量が伸長し、

売上げは前年を上回りました。

利益につきましては、生産部門においては、飼育成績の向上やスマート養豚プロジェクトをはじめ、現場の効率化・省力化に繋がる設備の導入などに努めましたが、国産鶏肉の相場が軟調に推移したことや、人件費の上昇などにより昨年を下回りました。販売部門においては、ブランド食肉や付加価値商品の提案強化に加え、国内外での家畜の疾病や米中貿易交渉の影響による相場変動リスクを踏まえた、幅広い原産国からの安定した商品調達と提案に努めましたが、国産・輸入牛肉が仕入価格高で苦戦したこと、輸入豚肉や国産鶏肉の供給増加により国内の豚肉・鶏肉の販売価格が低迷したこと、夏場の天候不順や物流コストの上昇の影響を受けたことなどにより、全体で減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の食肉事業本部の売上高は対前年同期比 2.2%増の 387,487 百万円、事業利益は対前年同期比 19.5%減の 14,690 百万円となりました。

(関連企業本部)

水産部門は、主力の寿司種の販売強化に取り組みましたが、主要販売先の寿司店や量販店で、価格競争の激化により販売が苦戦したことや、一部魚種で漁獲量減少の影響により取扱い量が減少したことで、売上げは前年を下回りました。

乳製品部門のうち、ヨーグルト・乳酸菌飲料は、量販店チャンネルにおいて、価格改定を実施した主力の「バニラヨーグルト」の売上げは伸長しましたが、CVSチャンネル向け商品の販売減少や、市場成長の伸び悩みにより競争が激化した乳酸菌飲料の販売が減少し、売上げは前年を下回りました。チーズは、主力の業務用商品において、外食チャンネル向けの販売が好調に推移した他、CVSチェーンのデザート向け商品の売上げが増加したこと等により、売上げは前年を上回りました。

利益につきましては、水産部門では、工場の生産性改善等が寄与し、前年を上回りました。乳製品部門のうち、ヨーグルト・乳酸菌飲料は、販売数量の減少に伴う粗利益の減少や、新工場稼動に伴う経費の増加等により、前年を下回りました。チーズは、販売数量の増加に伴う粗利益の増加により、前年を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の関連企業本部の売上高は対前年同期比 8.3%減の 69,621 百万円、事業利益は対前年同期比 21.2%増の 234 百万円となりました。

(海外事業本部)

売上高につきましては、アジア・欧州事業では、トルコでの鶏肉販売や、中国、台湾での加工食品の販売が伸長しましたが、シンガポールやタイでの原料の輸出入が減少したことにより、微減となりました。米州事業では、米国内における販売が順調に推移し、前年を上回りました。豪州事業では、販売価格が安定して推移したものの、生産の最適化に取り組んだことにより牛生体の集荷頭数が前年より減少し、前年を下回りました。

利益につきましては、アジア・欧州事業では、タイでの加工原料コストが削減できたこと、英国における食肉調達コストが安定的に推移したこと、また、トルコにおける鶏肉の販売が好調であったことなどにより、前年を上回りました。米州事業では、米国内販売で利益が確保できたことや、日本向け輸出原料の調達価格が安定したことなどにより、前年を上回りました。豪州事業では、オーストラリアにおいては安定した販売価格を維持できたことに加え生産・処理コストの改善が進んだこと、また、ウルグアイにおいても生産コストの改善が進んだことなどから、前年を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の海外事業本部の売上高は対前年同期比 0.1%増の 131,768 百万円、事業利益は 1,902 百万円（前年同期は 855 百万円の事業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

《財政状態》

当第2四半期末の総資産は、前期末に比べ営業債権及びその他の債権が 22,457 百万円減少しましたが、棚卸資産が 15,090 百万円、有形固定資産が 23,611 百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比 4.0%増の 770,867 百万円となりました。負債については、前期末に比べ営業債務及びその他の債務が 1,847 百万円、その他の金融負債が 2,512 百万円それぞれ減少しましたが、有利子負債が 34,089 百万円増加したことなどにより、前期末比 9.0%増の 366,397 百万円となりました。なお、有利子負債は 181,098 百

万円となりました。有形固定資産及び有利子負債は、当期より適用した IFRS 第 16 号「リース」(以下、「IFRS 第 16 号」)による使用権資産の計上、リース負債の増加によりそれぞれ増加しております。

親会社の所有者に帰属する持分は前期末に比べ 1,199 百万円減少し、399,815 百万円となったことに加え、総資産が増加したことから親会社所有者帰属持分比率は 2.2 ポイント減の 51.9%となりました。

《キャッシュ・フロー》

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加 15,743 百万円、法人所得税の支払額 4,869 百万円などがありましたが、税引前利益 14,963 百万円、営業債権及びその他の債権の減少 21,745 百万円、減価償却費及び償却費 16,437 百万円などにより、33,298 百万円の純キャッシュ増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産等の取得 19,385 百万円などにより、19,434 百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加 8,903 百万円、借入債務による調達 19,606 百万円などがありましたが、現金配当 9,271 百万円、借入債務の返済 20,099 百万円などにより、571 百万円の純キャッシュ減となりました。

これらの結果、当第 2 四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末に比べ 12,502 百万円増加し、60,610 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高については、加工食品部門の業務用商品において惣菜・中食チェーン向けの売上げが減少したことや、食肉事業において国内の豚肉および鶏肉の販売価格が低迷したことなどにより、前回予想を下回る見通しです。

これらの状況を踏まえ、改めて今後の業績見通しを検討した結果、2019年5月15日の「2019年3月期決算短信」で公表した2020年3月期通期の連結業績予想について、下記のとおり修正いたします。

■2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	事業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的一株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	1,280,000	40,000	26,000	18,500	179.76円
今回発表予想 (B)	1,240,000	40,000	26,000	18,500	179.76円
増減額 (B) - (A)	△ 40,000	—	—	—	
増減率	△ 3.1%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	1,234,180	38,311	30,267	19,561	183.21円

将来に関する記述等についてのご注意

この決算短信に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、この決算短信に記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	48,108	60,610
営業債権及びその他の債権	153,260	130,803
棚卸資産	113,415	128,505
生物資産	25,971	24,808
その他の金融資産	12,041	15,621
その他の流動資産	5,468	6,986
流動資産合計	358,263	367,333
非流動資産		
有形固定資産	289,898	313,509
生物資産	1,877	1,881
無形資産及びのれん	7,097	7,162
持分法で会計処理されている投資	14,400	14,047
その他の金融資産	34,125	33,309
繰延税金資産	28,004	26,219
その他の非流動資産	7,724	7,407
非流動資産合計	383,125	403,534
資産合計	741,388	770,867
(負債及び資本の部)		
流動負債		
有利子負債	62,746	67,316
営業債務及びその他の債務	111,573	109,726
未払法人所得税	2,738	1,464
その他の金融負債	18,123	15,961
その他の流動負債	38,788	40,231
流動負債合計	233,968	234,698
非流動負債		
有利子負債	84,263	113,782
退職給付に係る負債	14,118	14,462
その他の金融負債	1,105	755
繰延税金負債	1,326	1,205
その他の非流動負債	1,250	1,495
非流動負債合計	102,062	131,699
負債合計	336,030	366,397
資本		
資本金	36,294	36,294
資本剰余金	72,672	72,659
利益剰余金	286,934	288,005
自己株式	△ 202	△ 191
その他の包括利益累計額	5,316	3,048
親会社の所有者に帰属する持分	401,014	399,815
非支配持分	4,344	4,655
資本合計	405,358	404,470
負債及び資本合計	741,388	770,867

(注) その他の包括利益累計額の内訳
 その他の包括利益を通じて
 公正価値で測定する金融資産
 在外営業活動体の換算差額

前連結会計年度
 6,980
 △ 1,664

当第2四半期連結会計期間
 6,657
 △ 3,609

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日 ～2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日 ～2019年9月30日)
売上高	618,000	616,266
売上原価	514,481	511,628
販売費及び一般管理費	82,097	81,161
その他の収益	6,565	2,247
その他の費用	3,848	10,186
金融収益	872	728
金融費用	2,483	1,590
持分法による投資利益	645	287
税引前四半期利益	23,173	14,963
法人所得税費用	7,051	4,469
四半期利益	16,122	10,494
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	16,371	10,331
非支配持分	△ 249	163
四半期利益	16,122	10,494
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	152.30円	100.39円
希薄化後1株当たり四半期利益	150.58円	100.35円

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (2018年7月1日 ～2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年7月1日 ～2019年9月30日)
売上高	313,622	311,506
売上原価	264,452	260,244
販売費及び一般管理費	41,548	40,325
その他の収益	2,932	1,138
その他の費用	1,809	9,082
金融収益	427	228
金融費用	1,732	823
持分法による投資利益	465	221
税引前四半期利益	7,905	2,619
法人所得税費用	2,828	878
四半期利益	5,077	1,741
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	5,266	1,680
非支配持分	△ 189	61
四半期利益	5,077	1,741
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	48.98円	16.33円
希薄化後1株当たり四半期利益	47.86円	16.32円

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日 ～2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日 ～2019年9月30日)
四半期利益	16,122	10,494
その他の包括利益(△損失)		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△ 1,400	△ 323
合計	△ 1,400	△ 323
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,583	△ 2,011
持分法適用会社におけるその 他の包括利益に対する持分	148	△ 67
合計	1,731	△ 2,078
その他の包括利益(△損失)合計	331	△ 2,401
四半期包括利益	16,453	8,093
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	17,171	8,065
非支配持分	△ 718	28
四半期包括利益	16,453	8,093

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (2018年7月1日 ～2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年7月1日 ～2019年9月30日)
四半期利益	5,077	1,741
その他の包括損失		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△ 1,018	155
合計	△ 1,018	155
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	753	△ 313
持分法適用会社におけるその 他の包括利益に対する持分	140	42
合計	893	△ 271
その他の包括損失合計	△ 125	△ 116
四半期包括利益	4,952	1,625
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,427	1,577
非支配持分	△ 475	48
四半期包括利益	4,952	1,625

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(2018年4月1日~2018年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	合計			
2018年4月1日残高	36,291	72,818	300,076	△ 16	—	11,311	△ 2,498	8,813	417,982	4,906	422,888
四半期利益			16,371					—	16,371	△ 249	16,122
その他の包括利益						△ 1,403	2,203	800	800	△ 469	331
四半期包括利益	—	—	16,371	—	—	△ 1,403	2,203	800	17,171	△ 718	16,453
配当			△ 11,394					—	△ 11,394	△ 9	△ 11,403
自己株式の取得				△ 6				—	△ 6	—	△ 6
自己株式の処分			0	0				—	0	—	0
ストックオプションの行使に伴う新株の発行	3	△ 3						—	0	—	0
子会社の設立								—	—	406	406
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替			1,064			△ 1,064		△ 1,064	—	—	—
所有者との取引額等合計	3	△ 3	△ 10,330	△ 6	—	△ 1,064	—	△ 1,064	△ 11,400	397	△ 11,003
2018年9月30日残高	36,294	72,815	306,117	△ 22	—	8,844	△ 295	8,549	423,753	4,585	428,338

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日~2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	合計			
2019年4月1日残高	36,294	72,672	286,934	△ 202	—	6,980	△ 1,664	5,316	401,014	4,344	405,358
四半期利益			10,331					—	10,331	163	10,494
その他の包括損失						△ 321	△ 1,945	△ 2,266	△ 2,266	△ 135	△ 2,401
四半期包括利益	—	—	10,331	—	—	△ 321	△ 1,945	△ 2,266	8,065	28	8,093
配当			△ 9,262					—	△ 9,262	△ 9	△ 9,271
自己株式の取得				△ 2				—	△ 2	—	△ 2
自己株式の処分			△ 13	13				—	0	—	0
子会社の増資								—	—	186	186
子会社の設立								—	—	106	106
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替			2			△ 2		△ 2	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△ 13	△ 9,260	11	—	△ 2	—	△ 2	△ 9,264	283	△ 8,981
2019年9月30日残高	36,294	72,659	288,005	△ 191	—	6,657	△ 3,609	3,048	399,815	4,655	404,470

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日 ～2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日 ～2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	23,173	14,963
減価償却費及び償却費	11,016	16,437
減損損失	574	156
生物資産の公正価値変動額	△ 992	△ 738
金融収益及び金融費用	1,611	867
営業債権及びその他の債権の増減	△ 1,475	21,745
棚卸資産の増減	△ 14,813	△ 15,743
生物資産の増減	△ 652	794
その他の資産の増減	△ 448	△ 333
営業債務及びその他の債務の増減	7,226	△ 1,389
その他の負債の増減	△ 4,215	118
その他—純額	△ 2,517	834
利息の受取額	224	277
配当金の受取額	1,110	1,057
利息の支払額	△ 494	△ 878
法人所得税の支払額	△ 10,417	△ 4,869
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,911	33,298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産等の取得	△ 25,421	△ 19,385
固定資産等の売却	140	256
定期預金の増減	2,184	△ 119
その他の金融資産の取得	△ 1,037	△ 42
その他の金融資産の売却及び償還	519	15
関連会社に対する投資	△ 38	△ 120
その他—純額	△ 235	△ 39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 23,888	△ 19,434
財務活動によるキャッシュ・フロー		
現金配当	△ 11,403	△ 9,271
短期借入金増減	17,481	8,903
借入債務による調達	4,618	19,606
借入債務の返済	△ 9,901	△ 20,099
非支配持分からの出資	406	292
自己株式の取得	△ 6	△ 2
その他—純額	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,195	△ 571
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	590	△ 791
現金及び現金同等物の増減額	△ 13,192	12,502
期首現金及び現金同等物残高	58,290	48,108
期末現金及び現金同等物残高	45,098	60,610

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

報告セグメントに関する情報

当社グループは、主として商品及び提供するサービスの性質に加えて販売又はサービスを提供する地域に応じて以下の4つの事業セグメントに区分し、経営管理を行っており、これを報告セグメントとしております。

- 加工事業本部 — 主に国内におけるハム・ソーセージ、加工食品の製造・販売
- 食肉事業本部 — 主に国内における食肉の生産・販売
- 関連企業本部 — 主に国内における水産物、乳製品の製造・販売
- 海外事業本部 — 主に海外子会社におけるハム・ソーセージ、加工食品、食肉及び水産物の生産・製造・販売

なお、当社グループは当社及び子会社 82 社、関連会社 10 社で構成されています。

(表示方法の変更)

前連結会計年度まで、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額を「セグメント利益」として表示しておりましたが、当連結会計年度より当該「セグメント利益」の算定方法を変更して表示しております。当連結会計年度からは、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともに IFRS への調整及び非経常項目を除外して算定した金額を新たに「セグメント利益」として表示しております。なお、前第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結会計期間の「セグメント利益」は、当第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結会計期間との比較可能性の観点から、変更後の算定方法に修正して表示しております。当該変更は、セグメント情報の重要な経営指標として、事業活動を通じて獲得する利益をより明確に示すことにより、当該変更が要約四半期連結財務諸表の利用者にとって目的適合性のより高い情報を提供すると判断したためであります。

前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位：百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	関連企業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	167,307	322,920	74,140	67,049	631,416	△ 13,416	618,000
セグメント間の内部売上高	7,156	56,215	1,812	64,608	129,791	△ 129,791	-
計	174,463	379,135	75,952	131,657	761,207	△ 143,207	618,000
セグメント利益(△損失)	2,753	18,252	193	△ 855	20,343	1,528	21,871

当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位：百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	関連企業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	165,571	330,107	67,815	65,980	629,473	△ 13,207	616,266
セグメント間の内部売上高	7,522	57,380	1,806	65,788	132,496	△ 132,496	-
計	173,093	387,487	69,621	131,768	761,969	△ 145,703	616,266
セグメント利益	4,566	14,690	234	1,902	21,392	440	21,832

- (注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれております。
2. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行っております。
3. 「セグメント利益(△損失)」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

前第2四半期連結会計期間(2018年7月1日～2018年9月30日)

(単位:百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	関連企業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	86,447	162,197	38,561	33,857	321,062	△7,440	313,622
セグメント間の内部売上高	3,684	27,710	847	33,642	65,883	△65,883	-
計	90,131	189,907	39,408	67,499	386,945	△73,323	313,622
セグメント利益(△損失)	1,420	8,495	175	△798	9,292	598	9,890

当第2四半期連結会計期間(2019年7月1日～2019年9月30日)

(単位:百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	関連企業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高							
外部顧客に対する売上高	85,434	165,469	34,891	32,864	318,658	△7,152	311,506
セグメント間の内部売上高	3,689	29,005	935	34,112	67,741	△67,741	-
計	89,123	194,474	35,826	66,976	386,399	△74,893	311,506
セグメント利益	2,358	6,895	323	1,116	10,692	66	10,758

- (注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれております。
2. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行っております。
3. 「セグメント利益(△損失)」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非正常項目を除外して算出しております。

2. 会計方針の変更

当社グループは、第1四半期連結会計期間より以下の基準を適用しております。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IFRS第16号	リース	リース取引に関する会計処理の改訂

当社グループは、契約時に、特定された資産の使用を支配する権利が一定期間にわたって対価と交換に移転する場合には、当該契約はリースであるか又はリースを含んでいると判定しております。

ただし、当社グループはリース期間が12ヶ月以内の短期リース及び少額資産のリースについて、使用权資産及びリース負債を認識しないことを選択しております。

なお、当社グループはIFRS第16号の適用に際し、契約にリースが含まれているか否かについては、IAS第17号「リース」(以下、「IAS第17号」)及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引き継いでおります。適用開始日以降は、IFRS第16号の規定に基づき判断しております。

また、当社グループはIFRS第16号の適用に際し、すべてのリースに関して、適用開始日に累積的影響を認識する方法を適用しております。

リース取引におけるリース負債は、リース開始日におけるリース料総額の未決済分の割引現在価値として測定を行っております。

適用開始日現在の要約四半期連結財政状態計算書に認識されているリース負債に適用している借手の追加借入利率の加重平均は、0.4%であります。

リース料総額の未決済分の割引現在価値を算定する場合に使用すべき割引率は、実務上可能な場合にはリースの計算利率とし、実務上不可能な場合には、借手の追加借入利率を用いております。

なお、リース料は利息法に基づき金融費用とリース負債の返済額に配分し、金融費用は要約四半期連結損益計算書にて、使用权資産に係る減価償却費と区分して認識しております。

使用权資産については、リース負債の当初測定額に当初直接コスト、前払リース料等を調整し、リース契約に基づき要求される原状回復義務等のコストを加えた額で当初の測定を行っており、リース期間にわたり定額法又は他の規則的な基礎のいずれかによって減価償却を行っております。

IAS 第 17 号を適用して開示したオペレーティング・リース契約と要約四半期連結財政状態計算書に認識した適用開始日現在のリース負債の調整表は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

2019年3月31日現在で開示したオペレーティング・リース契約の割引後の金額	8,846
2019年3月31日現在で認識したファイナンス・リース債務	11,264
解約可能オペレーティング・リース契約等	16,844
2019年4月1日現在のリース負債	36,954

これにより従前の会計基準を適用した場合と比較し、当期首時点で主に有形固定資産に含まれる要約四半期連結財政状態計算書での資産残高は 25,690 百万円増加しております。

なお、当社グループは IFRS 第 16 号の適用に際し、以下の実務上の便法を使用しております。

- ・特性が合理的に類似したリースのポートフォリオに単一の割引率を適用しております。
- ・減損レビューを実施することの代替として、リースが適用開始日直前において IAS 第 37 号「引当金、偶発負債及び偶発資産」を適用して不利であるかどうかの評価に依拠しております。
- ・当初直接コストを適用開始日現在の使用权資産の測定から除外しております。
- ・延長又は解約オプションが含まれている契約について、リース期間を算定する際などに、事後的判断を使用しております。

2020年3月期第2四半期

補 足 資 料

日 本 ハ ム 株 式 会 社

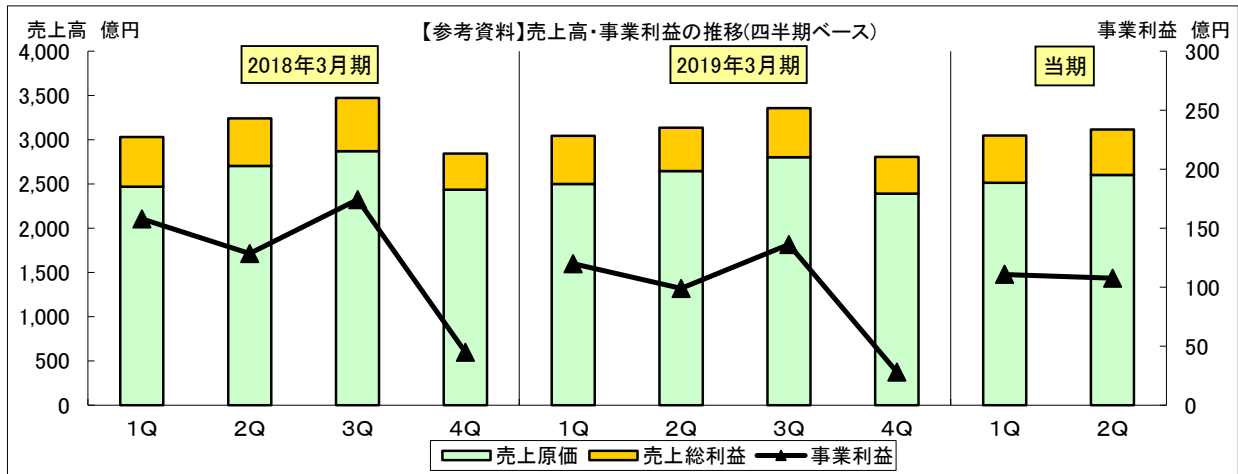
2019年10月

I ハイライト情報

《連結決算》

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期 (実績)	2019年3月期 第2四半期 (実績)	2020年3月期 第2四半期 (実績)	対前年同期 増減率	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (計画)
売上高	627,060	618,000	616,266	△ 0.3%	1,234,180	1,240,000
売上総利益	109,811	103,519	104,638	1.1%	200,603	
事業利益	28,661	21,871	21,832	△ 0.2%	38,311	40,000
税引前四半期(当期)利益	30,716	23,173	14,963	△ 35.4%	30,267	26,000
親会社所有者帰属持分 四半期(当期)利益	20,617	16,371	10,331	△ 36.9%	19,561	18,500
売上高総利益率	17.5%	16.8%	17.0%		16.3%	
売上高事業利益率	4.6%	3.5%	3.5%		3.1%	3.2%
親会社所有者帰属持分当期 (四半期)利益率(ROE)	5.3%	3.9%	2.6%		4.8%	4.6%

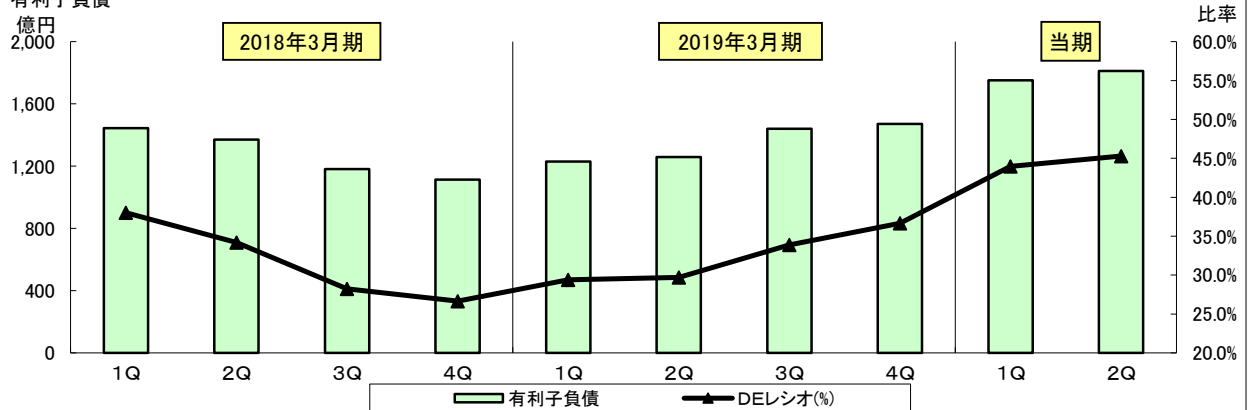


(単位：百万円)

	2018年3月期第2 四半期(実績)	2019年3月期第2 四半期(実績)	2020年3月期第2 四半期(実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (計画)
総資産	737,928	748,863	770,867	741,388	
親会社所有者帰属持分	400,021	423,753	399,815	401,014	
有利子負債	137,110	125,893	181,098	147,009	
D / E レシオ	0.34	0.30	0.45	0.37	
設備投資額	14,818	23,027	16,612	47,820	70,800
減価償却費	10,106	10,769	16,279	22,417	33,300

有利子負債

【参考資料】有利子負債及びDEレシオ推移(四半期ベース)



II セグメント情報

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日～2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年9月30日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
加工事業本部						
外部顧客に対する売上高	167,307	95.9%	165,571	95.7%	△ 1,736	△ 1.0%
セグメント間の内部売上高	7,156	4.1%	7,522	4.3%	366	5.1%
売上高合計	174,463	100.0%	173,093	100.0%	△ 1,370	△ 0.8%
セグメント利益	2,753	1.6%	4,566	2.6%	1,813	65.9%
食肉事業本部						
外部顧客に対する売上高	322,920	85.2%	330,107	85.2%	7,187	2.2%
セグメント間の内部売上高	56,215	14.8%	57,380	14.8%	1,165	2.1%
売上高合計	379,135	100.0%	387,487	100.0%	8,352	2.2%
セグメント利益	18,252	4.8%	14,690	3.8%	△ 3,562	△ 19.5%
関連企業本部						
外部顧客に対する売上高	74,140	97.6%	67,815	97.4%	△ 6,325	△ 8.5%
セグメント間の内部売上高	1,812	2.4%	1,806	2.6%	△ 6	△ 0.3%
売上高合計	75,952	100.0%	69,621	100.0%	△ 6,331	△ 8.3%
セグメント利益	193	0.3%	234	0.3%	41	21.2%
海外事業本部						
外部顧客に対する売上高	67,049	50.9%	65,980	50.1%	△ 1,069	△ 1.6%
セグメント間の内部売上高	64,608	49.1%	65,788	49.9%	1,180	1.8%
売上高合計	131,657	100.0%	131,768	100.0%	111	0.1%
セグメント利益 (△損失)	△ 855	△ 0.6%	1,902	1.4%	2,757	—
消去調整他						
売上高	△ 143,207		△ 145,703		△ 2,496	
セグメント利益	1,528		440		△ 1,088	
連結						
売上高合計	618,000	100.0%	616,266	100.0%	△ 1,734	△ 0.3%
セグメント利益	21,871	3.5%	21,832	3.5%	△ 39	△ 0.2%

(注) セグメント利益 (△損失) は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (2018年7月1日～2018年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (2019年7月1日～2019年9月30日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
加工事業本部						
外部顧客に対する売上高	86,447	95.9%	85,434	95.9%	△ 1,013	△ 1.2%
セグメント間の内部売上高	3,684	4.1%	3,689	4.1%	5	0.1%
売上高合計	90,131	100.0%	89,123	100.0%	△ 1,008	△ 1.1%
セグメント利益	1,420	1.6%	2,358	2.6%	938	66.1%
食肉事業本部						
外部顧客に対する売上高	162,197	85.4%	165,469	85.1%	3,272	2.0%
セグメント間の内部売上高	27,710	14.6%	29,005	14.9%	1,295	4.7%
売上高合計	189,907	100.0%	194,474	100.0%	4,567	2.4%
セグメント利益	8,495	4.5%	6,895	3.5%	△ 1,600	△ 18.8%
関連企業本部						
外部顧客に対する売上高	38,561	97.9%	34,891	97.4%	△ 3,670	△ 9.5%
セグメント間の内部売上高	847	2.1%	935	2.6%	88	10.4%
売上高合計	39,408	100.0%	35,826	100.0%	△ 3,582	△ 9.1%
セグメント利益	175	0.4%	323	0.9%	148	84.6%
海外事業本部						
外部顧客に対する売上高	33,857	50.2%	32,864	49.1%	△ 993	△ 2.9%
セグメント間の内部売上高	33,642	49.8%	34,112	50.9%	470	1.4%
売上高合計	67,499	100.0%	66,976	100.0%	△ 523	△ 0.8%
セグメント利益 (△損失)	△ 798	△ 1.2%	1,116	1.7%	1,914	—
消去調整他						
売上高	△ 73,323		△ 74,893		△ 1,570	
セグメント利益	598		66		△ 532	
連結						
売上高合計	313,622	100.0%	311,506	100.0%	△ 2,116	△ 0.7%
セグメント利益	9,890	3.2%	10,758	3.5%	868	8.8%

(注) セグメント利益 (△損失) は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

【参考情報～海外事業本部の内訳】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日～2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年9月30日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
アジア・欧州						
外部顧客に対する売上高	12,356	30.7%	13,539	33.7%	1,183	9.6%
セグメント間の内部売上高	27,895	69.3%	26,607	66.3%	△ 1,288	△ 4.6%
売上高合計	40,251	100.0%	40,146	100.0%	△ 105	△ 0.3%
セグメント利益	204	0.5%	993	2.5%	789	386.8%
米州						
外部顧客に対する売上高	11,339	28.1%	10,726	25.6%	△ 613	△ 5.4%
セグメント間の内部売上高	28,975	71.9%	31,154	74.4%	2,179	7.5%
売上高合計	40,314	100.0%	41,880	100.0%	1,566	3.9%
セグメント利益 (△損失)	△ 38	△ 0.1%	445	1.1%	483	—
豪州						
外部顧客に対する売上高	43,353	82.3%	41,715	81.5%	△ 1,638	△ 3.8%
セグメント間の内部売上高	9,315	17.7%	9,473	18.5%	158	1.7%
売上高合計	52,668	100.0%	51,188	100.0%	△ 1,480	△ 2.8%
セグメント利益 (△損失)	△ 471	△ 0.9%	980	1.9%	1,451	—

(注) セグメント間取引の消去があるため、オペレーティング・セグメント情報の「海外事業本部」とは一致しません。

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (2018年7月1日～2018年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (2019年7月1日～2019年9月30日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
アジア・欧州						
外部顧客に対する売上高	6,122	29.3%	6,622	32.9%	500	8.2%
セグメント間の内部売上高	14,749	70.7%	13,511	67.1%	△ 1,238	△ 8.4%
売上高合計	20,871	100.0%	20,133	100.0%	△ 738	△ 3.5%
セグメント利益	188	0.9%	325	1.6%	137	72.9%
米州						
外部顧客に対する売上高	5,801	27.7%	5,411	24.8%	△ 390	△ 6.7%
セグメント間の内部売上高	15,131	72.3%	16,413	75.2%	1,282	8.5%
売上高合計	20,932	100.0%	21,824	100.0%	892	4.3%
セグメント利益 (△損失)	△ 248	△ 1.2%	366	1.7%	614	—
豪州						
外部顧客に対する売上高	21,932	83.1%	20,832	80.7%	△ 1,100	△ 5.0%
セグメント間の内部売上高	4,475	16.9%	4,971	19.3%	496	11.1%
売上高合計	26,407	100.0%	25,803	100.0%	△ 604	△ 2.3%
セグメント利益 (△損失)	△ 482	△ 1.8%	624	2.4%	1,106	—

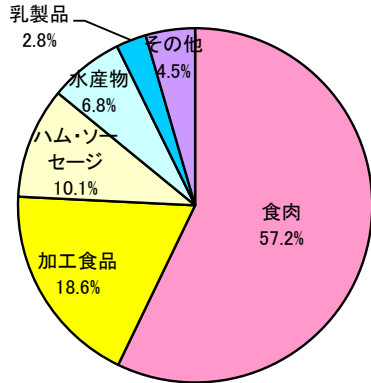
(注) セグメント間取引の消去があるため、オペレーティング・セグメント情報の「海外事業本部」とは一致しません。

Ⅲ 連結売上内訳

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期 (実績)		2020年3月期 第2四半期 (実績)		対前年同期 増減率	2019年3月期 (実績)		2020年3月期 (計画)	
		構成比		構成比			構成比		構成比
ハム・ソーセージ	62,653	10.1%	63,394	10.3%	1.2%	128,356	10.4%	129,900	10.5%
加工食品	115,107	18.6%	114,059	18.5%	△ 0.9%	233,655	18.9%	230,200	18.6%
食肉	353,222	57.2%	357,962	58.1%	1.3%	703,557	57.0%	715,900	57.7%
水産物	42,116	6.8%	38,433	6.3%	△ 8.7%	88,138	7.2%	84,700	6.8%
乳製品	17,058	2.8%	16,908	2.7%	△ 0.9%	33,270	2.7%	34,500	2.8%
その他	27,844	4.5%	25,510	4.1%	△ 8.4%	47,204	3.8%	44,800	3.6%
合計	618,000	100.0%	616,266	100.0%	△ 0.3%	1,234,180	100.0%	1,240,000	100.0%

2019年3月期第2四半期連結売上構成比



2020年3月期第2四半期連結売上構成比

